

# 人むすびの場

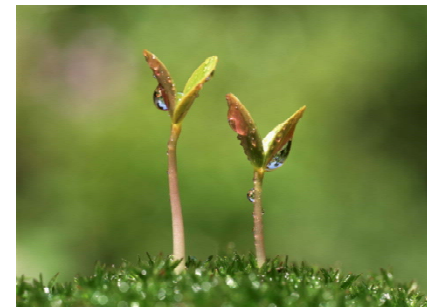
第24回テーマ

“デザインの力が社会システムを変える”

日時	平成22年6月27日(木) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

# “人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすび(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何かが生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場をご一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください。
- 新しいアイデア・企画の提供など、もろもろご意見をお待ちします。



# プログラム

- 19:00 ◆オリエンテーション 人むすびの場とは  
“人むすびの場”づくり企画運営チーム 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ  
「デザインの力が社会システムを変える」  
玉田 俊郎さん(たまだ としろうさん)  
(東京造形大学 教授、  
一般社団法人日本デザインマネジメント協会 専務理事)  
中山 司さん(同 事務局長)
- 19:50 ◆人むすびカフェ  
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ  
21:00 終了  
交流会(うさぎ)



## 「デザインの力が社会システムを変える」

ゲスト 玉田 俊郎さん(たまだ としろうさん)

(東京造形大学 教授、  
一般社団法人日本デザインマネジメント協会 専務理事)

中山 司さん(同 事務局長)

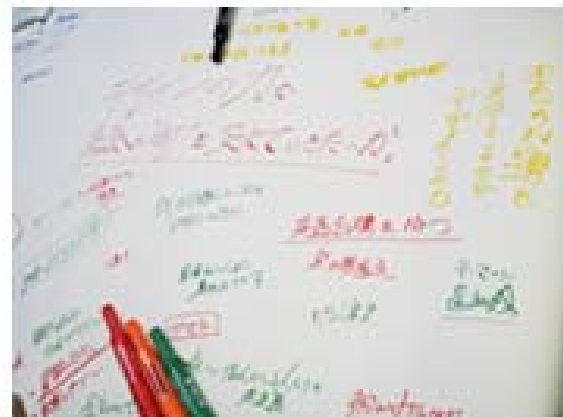
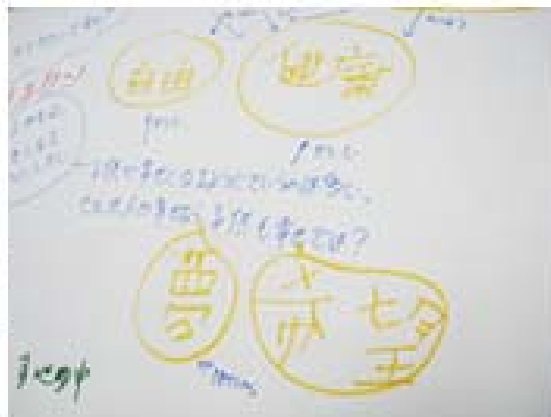
- 21世紀に入り、さまざまなレベルでパラダイム・シフトが起っています。
- デザインマネジメントは、デザインの有効性を再構築し、社会的価値の提案をしていくことです。社会構造の変化に社会的ニーズを捉え生活の中に実現していき、社会システムをデザインすること、この思考と実践を追及することが必要です。
- 自己実現を求める時代においては、形よりも経験・イメージが大事になります。デザイン分野は、ユニバーサルデザインやインタラクショナルデザイン、サステナブルデザインなど拡張していき、価値を創出しています。
- 私たちは、デザインマネジメントは、拡張するデザイン概念や機能、役割を、社会・産業・生活に適用し、社会にイノベーションをもたらす方法論であり、実践と考えています。
- 6つの戦略課題があります。①分野や組織を超えた水平的連携の必要性、②産業、環境、地域文化の融合による新たな経済価値の創造、③インタangible(無形)な資源、資産の表現と活用、④開かれた社会と地域に向けた情報発信と連携、⑤デザインマネジメントエキスパートの人材育成、⑥共感と共創のネットワークの構築、です。
- デザインの特質はインタangibleなものを tangible化(視覚化)することです。歴史・伝統・想いのような暗黙知をいかに具象化しコミュニケーションしていくか、がブランド価値を左右します。伝え方が大事で、それにより社会システムが作られてきました。
- これからの社会イノベーションを私たちが考える時代が来ました。デザインの持つ創造性。異分野を結ぶ学際性、問題解決に向けたイメージングと表象力を最大限に使ってイノベーションを図っていきます。
- 日本デザインマネジメント協会では、個性と多様性の相互理解を実現し、グローバルなテーマと調和する社会システムの構築が必要と考え、「社会イノベーション」「経営イノベーション」「デザインイノベーション」「教育イノベーション」に取り組みます。

### 【玉田 俊郎さん 経歴紹介】

1982年東京造形大学造形学部デザイン学科デザイン学科卒業。1984年筑波大学大学院芸術研究科生産デザイン専攻修了。東京都立工業技術センター(現東京都立産業技術研究センター)、東北芸術工科大学、2005年ヘルシンキ芸術デザイン大学客員教授を経て、2006年東京造形大学准教授を経て、2008年より教授。専門領域はインダストリアルデザイン、デザインマネジメント。2004年JETROの採択により山形県米沢織物をYAMAGATA STYLEとしてスウェーデンでの展示会をプロデュース。2006年山形打刃物のデザインとプロデュースを行う。2007年山形打刃物山形セレクション選定。2009年NPO法人FUIGO東京ビッグサイトギフトショープロデュース。MURAYAMA未来塾塾長。(社)日本デザインマネジメント協会、専務理事。



# 人むすびカフェ







# 人むすびカフェ

「成功することが保証されているとしたら、あなたはデザインの力で社会の“何”を変えていきたいですか？」





# 人むすびカフェ

「成功することが保証されているとしたら、あなたはデザインの力で社会の“何”を変えていきたいですか？」



## 本日の感想①

\* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・デザインには力があつたんだ！
- ・社会を変えるデザインは自分自身のしっかりとした考えと意見がないとただ流されるだけになってしまう。
- ・自分の中に新たな意見が芽生えました。
- ・議論するのは「デザイン」をする前の概念を前提にしているのでテーマを変えるのがデザインする？
- ・デザインへの認識にバラつきが大きいことを改めて感じた。
- ・「社会を変える」という考えを「変える」ことが必要
- ・立場、仕事の違う方の考え方はやはり自分とは違う視点での話があり、大変参考になりました。
- ・皆さん胸の内にあるデザインの芽を感じました。
- ・「変える」という事(あるいは言葉)そのものをデザインで変えるということ。
- ・言葉って思考を制限しますね ex.仕事 vs 遊び
- ・自分が解っているつもりでも論理的に説明できない事
- ・デザインに対する認識の多様性
- ・なかなか難しかったなあ・・・。
- ・時代は変わりつつある。
- ・多様性とデザインの関連

## 本日の感想②

\* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・成功・保証を変える(反対から見たもの)
- ・全体と個人の関係がどうあるべきなのか、これからの重要なテーマと思った。
- ・多様性を認めるかどうか。
- ・人と人との関係を変えていくことをデザインする。
- ・デザインが心に訴えかけえる存在になりうる。それによって社会が変わる。  
変えられる可能性がある。
- ・社会デザインで橋をかける 幸福になるためにデザインを活用
- ・“変える”
- ・階層を越えた気づきの共有
- ・デザインが自分の潜在的なボキャブラリー(思想を含む)を変える力があるの  
かもしれないということ。
- ・「社会」ってた？
- ・デザインの本質？
- ・教育・幸福感・新しい時代の価値観
- ・最小質量の食料の開発
- ・価値観の変容が起こりつつあると実感した。
- ・スポーツの様にビジネスをしたい。

## 本日の感想③

\* その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。

- ・思考を自然にする努力が必要かなと思う。
- ・人の役に立つことを目標にする。そのことの源泉をどこに求めるのか。
- ・デザインのお話はケーススタディが聞きたかったです。
- ・デザインの話ってすごーく広すぎて議論はむずかしいなあ。
- ・他人の意見を拾って伸ばす話が進まず難しさを感じた。
- ・毎回、多種多様な方と出会えて大変楽しい一時を過ごせました。  
ありがとうございました。
- ・初めての参加で大変良い刺激を受けました。皆さんの考え方に感動しました。
- ・話す時間がもう少し欲しかった。でも、すごくおもしろかったです。
- ・いろんな人の考えが聞けて刺激的でおもしろかったですー。
- ・カフェスタイルは短時間で多くの人とコミュニケーションする機会が設定できる。
- ・立場の異なる人たちとの意見交換は楽しいです。
- ・もう少し時間があっても良かった。
- ・道に迷っておさわがせしました。「ヤマトの左となり」と書くとわかりやすいかも・・・。
- ・本日はありがとうございました。

**皆さん、一緒に場をつくってくださってありがとうございました。**